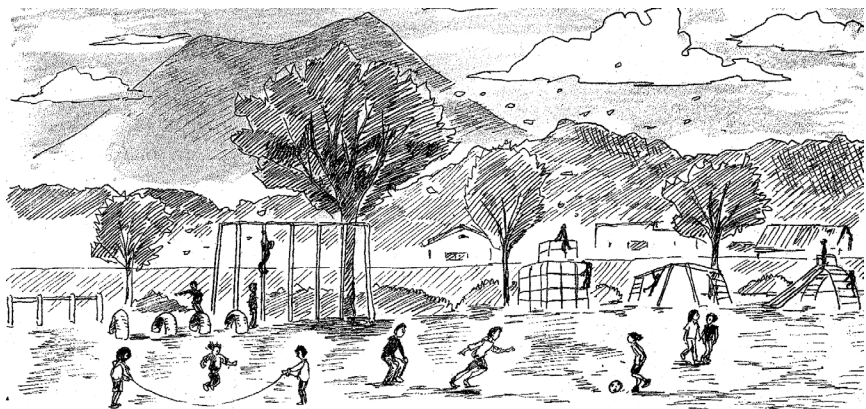




信濃教育

第一六七八号

令和八年九月

目次

口 絵

今、教師や子どもは——下伊那 下久堅小学校

巻頭言

「下栗の里」の魅力に迫る

巻頭提言

「子ども自らが、心ゆくまで探究する」とは

～幼小中の地続きの学びから考える～

賜

正俊

1

テーマ 「子ども自らが、心ゆくまで探究する」授業

〈実践報告〉

・ 小海を耕す探究の軌跡「Re: Local」

小林 拓也

19

・ 探究を「特別な学び」にしないために

——教科と総合をつなぐ学校づくり——

下平 将揮

26

・ 探究を軸とした学びの充実

伊藤 拓

33

・ 生徒のウェルビーイングを高める探究的な学び

～「枠を超えて行動を起こす」

アントレプレナーシップの育成を目指して～

上野 基

42

◆ある出あい

出会いを糧に

松村いずみ

50

◆青年教師のゆめ

はやくおじいさんになりたい

藤巻 壮史

54

◆こもれび

難病 ALS 闘病に教えてもらった事

有坂 栄康

56

◆信濃の国探訪——信濃の時を刻む景観とかたち——

更埴：「シナノ」地名の発祥地から月の名所の娘捨へ(1)

宮下 健司

60

◆読者の広場

「縄文の森」に還る未来へ想いを馳せて

～宮下健司先生の語る「麻績」に学ぶ～

平瀬 和子

75

◆マナー

相手を思う心

石井 誠

76

◇ 本会の動き
編集後記

77
78

◇ 目次カット
カット

鈴木 大三
横山 文香